

## 会 議 議 事 録 (要点記録)

会 議 名	第5回 村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会		
開 催 場 所	村上市役所本庁 5階第5会議室		
会 議 日 時	平成26年6月3日(火)	時 間	10時00分～12時15分
目 的	【概要】 ・村上駅周辺まちづくりプラン基本構想の検討について		
【 発 言 者 等 】	【 内 容 】		
[進行] 事務局-渡邊 榎谷委員長	1. 開会 ・あいさつ		
[進行] 事務局-渡邊	・委員15人中13人出席 会議成立の報告 ・資料の確認		
[進行] 事務局-渡邊	2. 委員の交代 ・村上地区地域審議会から選出の委員 交代予定		
榎谷委員長	3. 議事 それでは、これより議事に移ります。協議事項は、これまでに引き続き「村上駅周辺まちづくりプラン基本構想の検討について」となります。 本日は、前回第4回の協議を踏まえ、村上総合病院移転後の跡地の活用についての協議をしたいと考えています。 議事の進め方につきましては、事務局から配付資料に関する説明の後、質疑や協議の時間を設けたいと思いますので、ご協力願います。 それでは、事務局から説明願います。		
[説明] 事務局-本間	* 村上駅周辺まちづくりプラン基本構想の検討について 資料1. 村上総合病院移転後の跡地を含めた地区の位置づけ ※跡地活用の基本的な考え方について、当該地区が現在どのような場所として位置付けられているか、将来どのような役割を果たすべきか等について資料1により説明。		
榎谷委員長	資料2. 跡地の具体的な整備イメージ ※病院移転後の跡地での複数機能の組み合わせ、施設の活用イメージ等について資料2により説明。  どうもありがとうございました。 ただいま詳細に説明していただきましたが、前回の議論を踏まえまして、私が特に最後に一人一人ご意見などを伺ったこともありまして、前回まとめないまま終わったこともあり、それをうまくくみ取って、まとめたいただいたところもあると思います。 また、今ほど冒頭にご説明いただいたように、前回の資料の中でも検討のポイントとして何度か挙げていただいていた複数の機能を持たせるとか、駐車場側、旧ジャスコ跡地と一体化した利用とか、周辺の既存施設や機能との関連、あるいはその一体性みたいなものも考慮しようということ		

	<p>がベースになって、今、ご説明いただいた資料1と2のような案をつくっていただいたのだろうと理解しています。</p> <p>まず、この議論の出発点としてご用意いただいた資料1、2につきまして、ご質問など、ここをどのように読んだらいいとか、この辺はどういう意味であるとか、そういうものがございましたら、委員の皆さまから出していただきたいと思います。いかがでしょうか。どなたからでもご発言ください。</p> <p>確認なのですが、前回、このような事務局からメインとサブという機能配置の組み合わせが出てきて、その中で高齢者福祉をメインにして、サブ機能をいくつか持たせて、この駅前のみちづくりを進めていくと。前回の資料をみますと、この高齢者福祉というのは、どちらかというと滞在型で、イメージとしては、一定程度、高齢者の方でも、介護が必要な方をそこに滞在型で、例えばグループホームであるとか、高齢者専用の住宅であるというものを配置するというお考えだったと思います。</p> <p>今回、この老人福祉センターというのを見ますと、元気な高齢者の方々が、健康増進、介護予防であるとか社会貢献をするとなっています。これは考え方が変わったということによろしいのでしょうか。</p>
<p>榑井委員</p>	<p>確認なのですが、前回、このような事務局からメインとサブという機能配置の組み合わせが出てきて、その中で高齢者福祉をメインにして、サブ機能をいくつか持たせて、この駅前のみちづくりを進めていくと。前回の資料をみますと、この高齢者福祉というのは、どちらかというと滞在型で、イメージとしては、一定程度、高齢者の方でも、介護が必要な方をそこに滞在型で、例えばグループホームであるとか、高齢者専用の住宅であるというものを配置するというお考えだったと思います。</p>
<p>榑谷委員長</p>	<p>では事務局からご説明いただけますでしょうか。</p>
<p>事務局-本間</p>	<p>前回もお話しました滞在型の老人ホーム、あるいはデイサービス、ショートステイ等を考えますと、非常に民間の力に左右される、民間の力に頼るところが大きいということを考えました。それで、より現実的で、実現可能な考え方はどうかというところで、今回はこのようなものを作成させていただいたところです。</p>
<p>榑井委員</p>	<p>想定する高齢者の位置づけが変わったということによろしいわけですね。私が今、ご指摘申し上げたとおりということによろしいのですね。</p>
<p>事務局-本間</p>	<p>はい。</p>
<p>榑谷委員長</p>	<p>私が補足説明するわけではないのですが、今、資料1をご説明いただいた中で、右下に整備のイメージという点線で囲まれた部分があります。スローガンというか、5点、挙がっております。「子どもからお年寄りまで多様な市民が」というところとか、4番目の「元気と活力を創造する」とか、そういったところが、お年寄りに対しては、前回、老人ホームとか介護デイサービスというところが例示されておりましたけれども、若干、今回の提案で、具体的な施設のイメージが変更されたということになっていると思います。</p> <p>ほかにご質問などございませんか。</p>
<p>榑谷委員長</p>	<p>この資料は、今、榑井委員からのご指摘にありましたように、前回のもの、前回の議論を踏まえて、今回の議論のたたき台ということで事務局に用意していただいたものです。前回の委員会で配布されて、ここで議論した対象、前回の資料の3や4ですけれども、そこからは若干、当然ですが変更といいますか、修正がかかっています。</p> <p>その修正のされ方については、今の部分にありましたように、前回の議論を踏まえてさらに別の周辺的な事情などを考慮して修正されたというこ</p>

	<p>とだろーと思ひます。委員の皆さまから見て、このところは議論が反映されていないのではないかと、あるいは、前回のここでの議論はともかく、こういった観点も必要なのではないかと、落ちているのではないかと、うご指摘がございましたら、中身はどれがよろしいかみたいな議論を、この先にやることとなりますが、その前段として、この資料に、今、紹介していただいた資料に関してご意見等がありましたら、ご自由にご発言いただければと思ひますが、いかがでしょうか。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>それから、前回までは、あまり図面が、地図そのものは何度も参考資料という形で出していただきましたが、今回の資料1のような形でそれぞれのエリアごとの機能、当該地域を取り巻く周辺の、その施設の関連性みたいなものは、初めてまとめていただいたように思ひます。</p> <p>冒頭の挨拶でも申しましたけれども、なにぶん、村上市、特に中心部について、生活実感を持っておりませんので、何度かうろろ歩いたりして、地図を見て、景色を思い浮かべるくらいはできるのですが、実感を持って、ここはこういう機能を持つところとか、あるいはこういうふうになるといいだろうというイメージを持ち得ないところもあります。</p> <p>隣の野澤副委員長に、そこら辺のことも念頭において、この資料1の図について、お気づきの点をご指摘いただいたり、あるいは補足修正意見等がございましたら、言っていただけるとありがたいのですがいかがでしょうか。</p>
<p>野澤副委員長</p>	<p>その前に一つ、補足説明をお願いしたいのですが。</p> <p>資料1の1枚綴りの地図と、交流関係図の関係をちょっと、もう一度お聞かせ願ひたいのです。特に交流関係図のパターン4というものがございますが、そこにいわゆる交流の中心地と周辺の既存施設との関係というのがございます。例えば、旅ナビ館とまちの駅、室内運動施設と生涯学習推進センター、教育情報センター、これは赤い太い線で結ばれています。上の凡例を見ますと、赤いのは新設する機能間の交流軸と書いてありますが、これはどのように見たらよろしいのですか。</p>
<p>事務局-本間</p>	<p>凡例では矢印は交流軸となっていますが、赤い太い線につきましては、同じような機能という考えで見ただけであれば、お分かりいただけるかと思ひますが。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>機能が類似しているということのようです。</p>
<p>野澤副委員長</p>	<p>太さは関係ないのですか。</p>
<p>事務局-本間</p>	<p>関係ないです。</p>
<p>野澤副委員長</p>	<p>分かりました。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>そういうことですので、続けて野澤副委員長からご意見をいただきたいところですが、最初の資料1の図について、私、個人的に自身の心配という不安材料としまして、先ほど申しましたように、この村上市について、生活実感を持っていないものですから、これが実際に、村上市民の方から見て違和感と申ひますか、実態を反映していない部分がないのかどう</p>

かというところが多少気になります。それが杞憂であればいいと思っています。野澤副委員長からその辺りを含めてご意見、あるいはご質問があったらお願いしたいと思います。

野澤副委員長

資料1の駅前周辺の地図についてですが、当然、今回の村上総合病院跡地、村上駅の正面は、交流の中心地になるべきであろうと思われる場所です。ですから、市民がそこに集い、そこに村上市を訪れる他からの方もそこに集うという関係が望ましいと思います。資料1の図に関しては、周辺施設も全部書き込まれていまして、周辺施設等の利用関係も十分配慮する必要があるということが明確に読み取れるのではないかと思います。この図をもとに具現化していくのが一番望ましい形だと思います。

ただ、多様な市民が集まる施設、仕掛け、その辺がなかなか、難しいところなのかなという気がします。

櫛谷委員長

ありがとうございます。そういうことで、この資料1の図を出発点として、クエスチョンマークが付いている交流の中心地の機能について考えるということだと思います。

それでは、少し内容に関する議論に焦点を移してまいりたいと思います。前回も同様ですけれども、具体的にこういう箱物をつくる、これとこれを合体させた施設、建物を造るところまで、実際の建築イメージを考えるとするのはさておき、まずはこの機能について、というところを中心に考えたいと思います。

そうは言いますが、前回、同じことを申した記憶があります。機能と言われても、ちょっとぴんと来ないのも実情だろうと思います。その辺りの兼ね合いを考えて、事務局には資料2のような表現を用意していただいたところです。

例えば、児童福祉というのは機能ですけれども、福祉ということでも最後までもっていてもイメージがつかみづらいだろうと。言わなくても分かるだろう、ということはやはり変えたほうがいだろうということもあって、「アイウエオ」の箱の中には、保育園という形で現実的な施設をイメージしやすい見出しを載せていただいています。同様に、機能を前面に出したキャッチフレーズみたいなものが、パターン1から4まで、一番左肩の施設の活用イメージという部分になるかと思っています。

表の中、「アイウエオ」の中については、かなり具体的なイメージを感じさせるような文言になっているかと思っています。そこら辺を想定していただきながら、資料2の2枚目のところを初めて見ると何かよく分からないというか、ごちゃごちゃしていて、ここはどういう意味なのかというのが、細かく見ていくと疑問が出てくるかもしれません。

そういった疑問でも結構ですが、これらの資料をもとにして、これは、例えば、非現実的だとか、こういうものが望ましいのではないかとか、利用者がいる・いない、需要がある・ないとか、そういうご意見を皆さま方からいただければと思います。

パターン1から4まで、どれがよろしいかという形には、最終的には絞っていかねばいけません、いきなり今、これがよろしいというご意見を賜るといよりは、中身について不明確な点、あるいはこれはよろしいんじゃないか、これはないんじゃないかみたいな意見をいただきたいと思っています。いかがでしょうか。

会田委員

色々と整備のイメージなどを見ると、どれもみんな必要であるように見

<p>櫛谷委員長</p>	<p>受けられます。そんな関係から、やはり村上駅を含めて、村上市の顔となる地域であるために、それにふさわしいものの施設の整備が望ましいのではないかと考えられます。そんなことで、非常に色々なパターンがあり難しいです。要は村上の顔となるべき、それに相応しいものが必要でないかと考えております。</p> <p>ありがとうございます。なかなか、そこは難しいところだと私、個人的に思うところもあります。というのは、この地図、参考資料でお手元に配布していただいた地図でも分かるように、だいたい距離にして駅から 200メートルくらい離れていて道路を挟んでいるところです。駅に降りた方がパッと見、目につくという距離でもありません。この後ろが、先ほどの事務局からの説明にあったように、すぐに観光地といいますか、観光客が訪れるようなところが隣接していて、そこをつなぐ場所でもなさそうだと。町屋までは距離があるし、瀬波温泉は反対側だし、というところがあるように見えます。</p> <p>おっしゃることは当然のことで、村上の顔ということは言うまでもないと思います。現実には、例えば、村上市を象徴するような、駅に降りてすぐ目に入ってくるようなモニュメント的なものを造るというようなことは現実、ちょっと考えにくいのかなと、私は素人考えですけども思います。そこら辺、どのようなイメージをお持ちでしょうか。</p>
<p>会田委員</p>	<p>例えば、この村上市が福祉のまちとして、これから発展させるのだという考えをもってやるのか。市として、何をメインとして、これから市の整備をしていくのか。それらを含めて、合わせた形で整備したほうがいいのではないかと思います。そういうことです。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>ありがとうございます。村上市がどうあるべきかという大きな話で、市長がおっしゃってもよさそうな気がします。</p> <p>事務局からご説明いただきたいのですが、村上市が今後、特に重点的にやっていこうと、特に村上市をこういうまちにしようというのは、現実問題、多岐にわたるテーマがあると思います。その中で、観光というのは、位置的に少し離れているところもあって、ここは入り口であるということは間違いないのですが、施設的にはつながらないところもあるように思います。そこら辺も含めて村上市のこれからのキャッチフレーズといいますか、売りみたいなのところについては、例えば、既存の計画等でどのように謳われていて、この地区でどのような実現の仕方があるとお考えでしょうか。</p>
<p>事務局-渡邊</p>	<p>委員長のご指摘ですが、村上市の方向性として、今、全体的に問題になっているのが人口減少ということで、村上市だけではなくて、全国的にも連日のようにテレビや新聞で報道されているとおり、どうやって、今の人口を維持していくのかというところが問題になっております。昨年5月から庁内に対策委員会を設け、この3月には人口減少問題のチャレンジプランということで、多岐にわたる対策を策定したところです。</p> <p>その中で、様々な対策を打っていくということです。今、田端町また駅周辺ということで、具体的にどういったものをしていこうというところまでは、まだ議論が成熟しているわけではありませんが、委員の皆さま方にご審議いただいているもの、またお考えいただいているものを十分に取り入れながら、この駅周辺については、考えていく必要があるかなと考え</p>

ているところです。

病院跡地、駅周辺の整備については、特に病院跡地については市の方針として統合保育園というものを構想として出させていただきました。

それが果たして市民の皆さま方の村上駅前のイメージとしてどうなのかということも含めて、今回の委員会の皆さま方の議論の中で、十分、議論を尽くしていただきたいということです。

はっきりしない答えで恐縮ですが、今お答えできるのはそういった状況です。

櫛谷委員長

ありがとうございました。これも、私が補足説明する立場にはないのですが、こういう委員長という役割を仰せつかったせいか、たくさんの資料を事務局よりお送りいただいております。全てに目を通して正しく理解できたかというのは疑問なのですが、ざっと、村上市総合計画などを拝見しておりますと、これからの平成 29 年度を目途とした、この村上市総合計画の中では、まちづくりの将来像として「元気 e まち村上市」というものが多く謳われております。重点戦略として、その将来像のもとで定住の里づくりということで、5つの戦略プロジェクトというものが掲げられております。

いずれも具体的なものというよりは、スローガンのようなことだろうと思っておりますが、5つの戦略プロジェクトというものと、今回、お配りいただいた資料1の右下部分、整備イメージに書かれているところは、おそらく参考にして書かれたのではないと思っておりますが、結果的にはかなり一致しております。ということで、今ほど会田委員からご指摘いただいた村上市の、目に見える形の顔というイメージではないと理解いたしましたけれども、ご指摘いただいたような村上市の、これから重点的に整備していこうという目標がここに具現化されている、実現されているというところには、多分、ご用意いただいたパターンの1から4まで、いずれもそれに当たるものなのではないかと思っております。

私も生半可な理解のまままでご説明が正しかったか分かりませんが、私の理解はそういったところです。

坂上委員

パターンの的には、4のパターンで私はいいと思えます。あとは、あくまでも交流の中心地にしていただきたい。あらためて、ここに福祉センターが必要なのかなど。どういうふうに、詳しいことをイメージしていか分かりませんが、こういうものであれば瀬波温泉につくったほうがいいのかというような気もします。あらためて、まちの駅というイメージとしては大きなもの、多用途なものでいいと思えます。

ここに、福祉施設はどんなものかなど、そんなふうに思えます。

櫛谷委員長

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

村山委員

私も今の意見と同じで、まちの駅との交流を増やせるものがないと考えております。地図を見せていただくと、だいたい場所がよくて、駅もありバスもあって、文化施設もあるということで、ほかの地域からも来たくするような施設が欲しいと思えます。

定住のことを考えますと、子育てが大変重要なこととなります。若い夫婦が住む場所を決める際、子どもを育てる環境が一番大切で、勤め先に子どもを預かる施設があるので村上に住みましたという方の話も聞きます。

子育て支援センターという子どもを午前中遊ばせたりする場所があるの

ですけれども、それは時間が限られています。小さい子どもがいるお母さんたちが、子どもを遊ばせる場所がないと聞きますので、この子ども遊戯施設なのですが、ただ道具を置いておくスペースではなくて、もう少しこのところを充実させて子ども向けの体験施設や、シアターや、そこで長時間子どもと遊べるような施設も欲しいなと思っております。

隣の旧ジャスコ跡地に多目的広場というのですか、駐車場や広いスペースがあって、防災拠点という話もあったのですが、人が逃げてこられる場所があっても、その人たちが、ただ広場にいるだけではどうしようもないので、この場所に防災センターみたいなものがある、逃げてきた人たちに、例えばカップラーメンを配れるくらいの設備であるとか、普段からこういう備えをしましょうという情報が見られるような場所も、防災というものに目を向けているので、そういうものが欲しいと思っております。

櫛谷委員長

ありがとうございます。事務局から、もし分かりましたら補足をいただきたいのですが。今ほど村山委員からも言及がありましたが、子育て支援関連の施設として、先ほどの資料の説明の中で、村上市内の他の地区に既にあるものを、こちらのほうにという説明があったように思います。

既存の機能との関連とか、あるいは、ここに子育て支援の施設やセンターというものを仮に整備するとした場合、どのようなものが考えられるか。現実のところは、まだ計画すらないと思います。

例えば今、村山委員から時間の問題とか、施設の問題がありました。私の振り方が、子育て支援センターという言い方をしましたが、村山委員のイメージとちょっと違うのかもしれない。そこら辺で少し、分かることがありましたら補足をいただけないでしょうか。

事務局-竹内

企画政策室の竹内ですが、今、村山委員がおっしゃった内容は、先ほど、私どもの課長からチャレンジプランということで、人口減少の対策プランについての説明でも触れさせていただいたところです。

村上市は5市町村が合併して出来たわけですが、各地区1カ所ずつ子育て支援センターがございます。その子育てプランをつくるときに、全部ではないのですが、実際に利用されている親御さんはどういう考えを持っているのだろうということで、職員が出向きまして簡単な聞き取りや対話の機会を設けさせていただきました。

そうしたところ、今、村山委員がおっしゃったとおり、子育て支援センターは時間が限られていますし、土曜日、日曜日はやっておりません。

子育て支援センターは、育児をしている、子育て世代のお母さんたちが子育てで悩んだとき、行き詰まったときの情報交換を行ったり、子育てで同じ悩みを持つ人たちが集まる場として、非常に楽しみにされている方もいます。

若いお母さんたちの要望の第一に出たのが、村山委員がおっしゃったように、土曜日、日曜日に連れていくところがないというもので、そういう声は確かに寄せられています。

また、「子ども・子育て支援事業計画」が来年度から国の法律で決まり、今、その作業を進めていますが、それを見ている中でも、そういう場が欲しいというのは切実に寄せられています。

チャレンジプランの中で何ができるのだということで、子育て支援センターの拡充ということをお話しております。

もし、仮の話で恐縮ですが、このような形の整備になれば、人口減少対策の中の子育て支援の中で、一つの大きな柱として挙げられている子育て

支援センターの拡充は図れるのかなと思っています。

今回、まだ始まっておりませんが、試行的に、土曜日、日曜日やってみないかということで、何とか土曜日だけでも開けないかという取り組みは今年度から、試行でいいからやってみようと。実は、土曜日保育が、村上1カ所でしかやっていたのです。朝日の方も山北の方も、土曜保育の方は村上まで来てくださいというやり方を昨年度までしていました。

今年度から、それでは駄目だということで、朝日地区であれば猿沢保育園で土曜保育をやりましょう、荒川の場合は新しい統合保育園がありますが、山北はどこと決めてやっていますので、それを何とか活用して、土曜日だけでも子育て支援センターをやれないかという取り組みをやらせていただいております。

今年から取り組んでいきたいということで準備を進めておりますので、村山委員のご指摘は、まさしく地域の子育て世代の母親の声がそのままかなと感じさせていただいたところです。

櫛谷委員長

ありがとうございます。私から重ねてご質問させていただきたいのですが、そういう子育て支援関連の施設ないし機能の充実というのは、各地区でなされると。同時に、この村上駅前にもそういったものが新規に整備されるということについてはいかがでしょうか。それは必要性、地元ニーズ、あるいは拠点としての機能性みたいなことは考えられるのでしょうか。

事務局-竹内

まだ事務レベルの話ではございますが、チャレンジプランをまとめさせていただいた者としては、声としては土曜日、日曜日の利用、地元という拠点性、ある程度自由な時間を設けられて遊べる施設ということですので、全地区というイメージではないのかなと。

現実、全地区でそのような機能を持たせることが可能かどうかということも計画全体の中で考慮しなければなりません。現段階では、やはり拠点性を持って、土曜日、日曜日というのは出かける機会がありますので、そういうものにも使わせていただければ、人が集まるという交流人口の拡大というものでは、同じ市内といえども活性化につながるのかなと思っています。

市の方針ではなく、去年プランをまとめるまでの色んな議論の中で、そういうものを抱いているところです。

櫛谷委員長

ありがとうございます。私もあまり実感を持っていませんでしたが、こういう機能について、特にそれが充実することになるという面については、潜在的ニーズがかなりあるということ。ここに、仮に、今議論している地区に整備するというのも違和感はないということ、今説明いただけたかと思えます。

浅野委員

観光協会の浅野です。前は欠席しまして予習が足りずに、先ほど、いろいろイメージをめぐらせておりました。

パターン4のところ、観光協会のほうで旅ナビ館との関連もある中で、まちの駅ということで、リンクされています。

前回からこの議論までを含めて、よくここまでまとめいただいております。すごいことだなと思っています。各委員のご意見を本当によく取り入れておられると思っています。

その中にありまして、パターン4までの図があったり、交流関係図があ



ったりで、児童福祉も高齢者福祉も含めて、福祉という部分は、どちらの行政におかれても必須事項ですから、ここにパターン1から4まで書かれている児童福祉、あるいは高齢者福祉について、誰も否定する者がいないと私は理解しています。

これについては、総合計画の「元気 e まち村上市」という方針に沿って、積極的に果敢にやるべきだろうと私は思っておりますので、異を唱えるつもりは全くございません。

ただ、この場所でいいのかという議論は、前回の中で、かなり各委員から活発に出ていたようです。

例えば、これは現実には、この委員会でオーケーになって承認されて、私は観光協会だから観光もかかわっているパターン4で、みんな拾われているからどうだろうとやったときに、現実には小規模なチャレンジショップ的なもの、飲食小売店舗、あるいはまちの駅という経営母体、この辺りの具体的なものがそろばん勘定に入ってきます。

また、先ほどからお話が出ている児童福祉関係、高齢者福祉関係の経営母体は、お話によると民間から募集するという話も承っております。

それらも含めて、何でもかんでも運営も可能なのかどうかということもよく考えなければいけない。例えば、村上市観光協会にとってみると、今の旅ナビ館だけでも、人数にひっ迫が出ております。商工観光課と協議を進めなければいけない状況にある中で、まちの観光は大変ありがたいのですが、絵に描いた餅にならなければいいかと非常に心配しております。

あれだけの広大なところですし、高校生もあれだけおります。駅長さんによりますと、毎日午前8時に新潟方面から村上駅に着く電車は満杯だと。同じ時間帯で新潟方面に行く「いなほ」に乗るときはいつも、村上駅はラッシュアワーだなどと思っています。その状態が続いているわけです。

それと、児童福祉ということで、今、村山委員が言われたとおり、そういう場があれば、子どもを預けて保育園的な形でできるだろうと。

今ほどの事務局竹内さんの話を聞きますと子育て支援センターは土曜日、日曜日はやっていない。ところが郊外の商業施設を見ると、今は24時間、365日営業というところで、土日のパート募集もかなり増えています。それは別に温泉旅館だけではないわけです。

そういうことを考えると、その辺の見直しも含めながら、先進的な形の保育施設というものをこの際考えていく必要があるのではないかと思いますし、総合計画の中でコンパクトシティをつくっていく第一歩になるだろうと思いますし、掲げた以上は成功していただきたいと思います。

ですから、例えば、田端町の商店街として、本当にこのイメージを持って行かれたとき、「うん、さすがだ、これでいい」というところまでイメージが浸透させられるかということも大事だと思うのです。

私が何を申し上げたいかということ、結果的にこのプランを発表したときに、おそらく私どもの最初の委員の皆さん方から前回出たような意見が出るだろうと思うのです。

なぜ、そこに福祉施設なのだろう、どうなのだろうと。おそらく、市民の半分くらいは、そういうリアクションになるだろうと思うのです。

しかし、これだけ丁寧に議論を進めていく中で、それが必要だときちんと説いていく姿勢も行政側には必要だろうと思います。それと観光をどのようにリンクさせるかという観光協会長の立場としても、これは不必要だという説にはならないと思っております。やはり先ほど村山委員が言われたとおり、あるいは高齢者を考えたときに、この場所は元病院であったという関連性からいっても、非常に位置的にも必然性があるのだろうと思いま

す。何でもかんでもショッピングセンター、あるいは商業施設というわけにはいかないだろうと思います。

だから、これはこれとしてうまくまとめられておりますが、市民の皆さん方からはダイレクトな反応が出されますので、こういうものが必要だということを深めていただければと思います。私自身も勉強しなければいけないと肌身に感じて、意見を述べさせていただきました。

櫛谷委員長

ありがとうございます。浅野委員に、ちょっとご意見を補足いただければありがたいのですが。例えば、提案のパターン4の中にありますように、ここにまちの駅という案を立ち上げています。

仮に今ほどのご意見の中にありましたが、こういうものを整備するとする。でも、実際には、継続性といいますか、それを運営していくことはかなり困難なことが予想されるのでしょうか。

浅野委員

誰がこれを経営するのかによろしいと思います。村上市観光協会だと無理です。5,600万円をかけて旅ナビ館をオープンさせていただきました。

うれしい悲鳴をあげるほど物販も順調で、人手が足りないくらいで、いいすべり出しです。指定管理者も受けております。その中であって、このところを慎重にやらないと。

もう一つ、まちの観光も分かるのですけれども、果たして事業者として、ここは欲張りすぎというか、もう少し整合性を考えないと、屋上屋を重ねることになるような気がします。観光協会の意見をまとめているわけではありませんけど、私は旅ナビ館があつて、そこにまちの観光という新たな施設を、運営母体が市でなさるのであればともかく、やはりちょっと厳しいのかなと思っております。ご配慮はありがたいのですけれども。

櫛谷委員長

ありがとうございます。現実にはどのような経営になるかというあたりでは、議論しておりませんし、そこまで想定して、これはいいとか、悪いというのは、なかなか難しいと思います。さりとて、最初に事務局にご説明いただいた、資料1の最初の部分で、左の真ん中でしょうか、①から④まで将来どのような役割を果たすべきかということが謳われております。

その中で2番目には持続的に行えると。要するに、ものだけつくったけど、全然、誰も入らないとか、例えばテナントが入らないとか、すぐにいなくなってしまうということがあってはいけないということが、現実的には懸念される場所だと思います。

そこら辺を踏まえて、事務局にお伺いしたいのですが、資料2でさまざまな企業がここに案として出されております。この中で、見てすぐ分かるような、小売店舗というのはテナント的なものだろうと思います。細かい字でそのように書いてあります。ということで、民間主導に現実にはなるうかと思つきます。

微妙なもので、先ほど申しました「公的な整備により持続的に確保されることが望ましい」という文言との兼ね合いで、ここら辺は、今、大丈夫だと太鼓判を押せるということは不可能だと思いますが、公的な部分でやっていけるのではないかというものと、逆に民間にかなりお願いすることになるのではなからうかという辺りの仕切りをしていただけないでしょうか。

例えば、先ほど議論に出た子育て支援関連というのは、これは公的なものと、そういう前提で話を聞いておりましたが、いかがでしょうか。

微妙なところについて説明いただけますでしょうか。

<p>事務局-本間</p>	<p>それでは、ただいま委員長からお話しのありましたことについてですが、だいたい公的に整備できるもの、あるいは母体的に市ができるようなものということになると思います。逆に民間の皆さまに頼る部分が多いであろうと考えられるものは、「【H】飲食・小売り店舗」になります。</p> <p>これは、皆さま方に母体といいますか、経営等はやっていただくようなものが多いであろうと思っています。</p> <p>例えば、建物をつくりまして、そこを人に貸すという形もあるかと思いますが、経営母体自体は、民間の皆さまになると思います。あとは子育てカフェにつきましても、同じようなことと考えられます。</p>
<p>事務局-竹内</p>	<p>まちの駅ですが、資料2の1番下、パターン4の「エ」のところでもちの駅ということで、案内人常駐、地域情報提供とか、さまざま書いております。実は、このまちの駅の構想自体は、全国まちの駅協議会という全国規模の協議会があります。私どもは、交流人口の拡大にこのまちの駅を活用できないかという議論を、昨年度、チャレンジプランの中の交流人口の拡大の部門で議論させていただいた経緯がございます。</p> <p>イメージ的には、浅野委員がおっしゃった観光案内がメインというよりも、地域の人たちがそこに集まる場として活用して、そこに交流人口の拡大として、親切に観光案内情報を提供したり、「ちょっとお茶を飲んでいきませんか」みたいなイメージのもので始まったものでございます。</p> <p>ただ、立地の場所が駅前となりますと、若干それとは違う仕組みを、観光協会の旅ナビ館と仕分けはどうするのかとか、いろんな課題ができていますが。まちの駅構想は、今、市のほうで、これからチャレンジプランの中で、平成28年度を目標にまちの駅構想に取り組めないかと、プランの中に書かせていただいておりますが、現在のところ、まちの駅はここまでの整備のものではなくて、ちょっとした集まりの場、憩いの場みたいなイメージです。</p> <p>鍛冶町にコミュニティデイホームがございます。これが広まってくると、旅ナビ館のサテライト的なもので、まちづくり協議会とか、一般の方とか、どなたが運営するかまだ議論しておりませんが、空き家がいっぱいありますので、空き家を活用できないかと。空き家を活用して、まちの駅ができないかというようなイメージの議論を昨年させていただいたところです。</p>
<p>浅野委員</p>	<p>ご丁寧にありがとうございました。明日、村上地区地域審議会がありますが、地域審議会でもまちの駅について確かに話が出ておりましたし、鍛冶町のコミュニティデイホームの話もありました。そういう趣旨であれば納得できました。ありがとうございました。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>私も詳しく理解できていなくて申し訳ないのですが、多分、今のご説明を伺っての私の理解ですと、少なくともメインの施設というか機能にはならないだろうということ。この地区を住民だけではないというご説明がありました。本来的にはこの地区住民の集会というか、こういう説明のようなことと、この地区だったらプラスして来訪客をもターゲットという話かなと思います。</p> <p>いずれにしても、ここでまずメインとなる施設機能の整備というところには引っかかってこないだろうと思います。</p>

大滝委員	<p>この村上駅周辺まちづくりプランの策定委員会において、当初、ここにおきましては、村上の顔であること。ただ、私の思いは、外から来る人の顔、ふるさとから外に出て帰ってくる顔、この顔をつくるというイメージでこの間きたのです。ですけれども、この資料1や2を見ますと、村上市の集合住宅を、全て入れたものをここに作るというイメージに変わってきているような感じがするのです。</p> <p>ですから、それはそれでいいということなのか。私は1回目から参加していますが、ちょっと私の考え方とは違う感じなのです。ここに統合保育園を建てたいという話をされました。それでは村上の顔にはならないのではないかと、クエスチョンマークを付けたのですが、その辺はどのように考え方をええろというのか、その辺を教えてくださいたいのです。</p>
櫛谷委員長	<p>すみません、聞き取れなかったのですが、この計画は、村上の集合住宅とおっしゃったのですか。</p>
大滝委員	<p>村上市の集合住宅を建てるみたいな感じですか。何でもかんでも持ってきて。</p>
櫛谷委員長	<p>集合住宅というのは、入っておりませんが。</p>
大滝委員	<p>いえ、イメージで。このパターン4がありますけれども、これを見るとイメージとして村上市の集合住宅が全てここに集まったというイメージになるということ。</p>
会田委員	<p>要は観光まで入れてくれているということ。私からすれば。</p>
櫛谷委員長	<p>ちょっとすみません、私、理解できないのですが。</p>
坂上委員	<p>大滝委員が言うのは、児童福祉施設、高齢者、それから文化、これを全て網羅していると。最初に来たときもそうですけれども、あくまでも村上というキャッチコピーが、e まち、というイメージで、この付近で何かしたいというイメージで、私たちは参加していたのに、こういうことを全部網羅するのはちょっとおかしいんじゃないかという話だと思います。</p>
櫛谷委員長	<p>網羅しようということでは、私はそういう理解はしておりません。この資料2を見ていただきますと、前回からそういう方針で進めていましたけれども、まずメインとなる機能を中心とすると。この資料2では赤色が入っているところ、ここではパターン1から4まで、中に書いてあるのは3パターンが取り上げられています。これをあくまでメインとして確定して、それに類似した、それと機能的につながりを持つであろうというものをサブとして加えていくという考え方があります。あれも欲しい、これも必要だということで、それを全部パッケージにしてここで整備しようという考え方は全くっておりません。</p> <p>ですので、考え方を整理いたしますと、本日の最初のところに戻るような感じですが、資料1の図に書かれたように、ここをまず、交流の中心地として位置づける。つまり、この地区の性格づけをめぐってこのように考えたいというのが、本日のたたき台となっております。これでよろしいです。</p> <p>それで、交流の中心地であるということ的前提としてよろしいというこ</p>

<p>櫛谷委員長</p>	<p>とであれば、そのためメインとなる機能はどれであろうかということで、この資料2に書いてあるようなところが原案として考えられて提案されているわけです。これでよろしいか、あるいはどれが望ましいかという話になってきます。</p> <p>そこにサブ機能としてどういうものが考えられるかというのがそこにくっついてきて、結果的には多くの機能がここに整備されることになりすけれども、先ほど申しましたようにあれとこれとこれを同時にここに作りましょうという考え方ではございません。そういう理解ですが、いかがでしょうか。ご了解いただけますでしょうか。</p> <p>参考資料として、本日お手元に「跡地検討キーワード」と題した1枚紙が配られていると思います。既に前回の資料に書かれていたことですので、ここまで議論されているところですが、このような公共性、共存、調和、活性化、費用対効果というところを、ポイントといいますか、念頭においてどのようなものが、この地区におけるメインの機能が望ましいかということをご議論いただきたいと思います。</p>
<p>碓井委員</p>	<p>今、委員長がおっしゃったとおり、キーワードなり、資料を事務局で整備されている当該地区のイメージということ踏まえると、やはり私としては、ここの地区が老若男女、さまざまな方が交流をされると、あるいは駅の近くという立地からすれば、来訪者の方がおられて、いっぱいそこで交流して行って、俗な言い方ですけども、お金を落とさせていただくなり、いろんな方が来られて、この地区が活性化されていく必要があると考えています。</p> <p>そうすると、やはり、あれもこれもそれもというご指摘がありました。パターン4というものが、それぞれミクロで見れば、いろんな問題点が出てくるのでしようけれども、組み合わせとしては、こういう形の整理をしていくと、いろんな方が交流できるのではないかと考えております。</p> <p>私もこちらに来て、駅前をぶらぶらさせていただいていますが、特に土曜日、日曜日に、駅前に、人が全然集まっています。先ほどもお話がありました。ここに村上高校や村上桜ヶ丘高校とか、駅の裏手になりますが村上中等教育学校もあつたり、高校生の方がいっぱい交流できるような施設づくりといいますか、ニーズというものも一つ必要だと思いますので、その辺のところも考えて整理と、ご検討をしていただければと思います。以上です。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>ありがとうございます。いろいろとご意見をいただいているところですが、副委員長からもご感想やご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>野澤副委員長</p>	<p>先回の検討にもありましたように、児童福祉施設と高齢者施設というのが原案に出ているわけです。先回の検討手順の資料を見ますと、その2つについては、駅前という立地に対して利用者が限定的という注釈がついておりました。それでサブ機能をそこに加えて、多機能にする必要があるというお話があったと思います。それを踏まえての今回のパターンなのだろうと思います。</p> <p>交流の中心地であるこの場所に、保育園、もしくは老人福祉センターをもってくるということに対して、整備される施設内の交流関係はよく分か</p>

	<p>るのですが、既存の周辺施設との交流がどのように行われるのかが、読み取りにくいのです。その辺の説明があればお聞きしたいと思います。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>事務局、いかがでしょうか。保育園や老人福祉センターということがたたき台の中で想定されておりますが、周辺との関係についてはいかがですか、ということです。何か考え方がありましたらご説明いただけませんか。</p>
<p>事務局-本間</p>	<p>先ほどのパターン図の説明の際にもお話しさせていただきました。</p> <p>例えば、保育園あるいは高齢者関係の福祉がメインになった場合、既存施設との関係ということですが、まず情報センターあるいは生涯学習センターに来られる方たちが、学童保育、あるいは子育て支援センターがあるのであれば、そちらに参加して交流していくということが考えられるであろうということが1点あります。</p> <p>もう1つですが、高校生、あるいは中学校等の生徒が児童と交流していく。あるいは高齢者と交流するというのも出てくるということだろうと考えられます。具体的にこれがという話ではありませんが、イメージ的なものとして、現在考えているものはそのようなものでございます。</p>
<p>野澤副委員長</p>	<p>そのほかに、例えば駅前商店街、村上駅というすぐ隣接していて近いという関係に対しては、どのような交流がありますか。</p>
<p>事務局-本間</p>	<p>例えば、老人福祉センター等ができた場合ですが、駅前の商店街に寄っていただくといったことも考えられるかと思います。直接的な関係としては、来られた方が周りで買い物をするあるいは飲食をするという形になってくるかと思います。</p>
<p>石田委員</p>	<p>駅前の商店街の石田です。ただいま、話がありましたけれども、この図面を見ると分かるかと思いますが、結構の数の商店があります。</p> <p>業種にすると圧倒的にサービス業で、小売店とかそういうものがまるっきりないのです。</p> <p>駅前、田端町区民の方も買い物難民になっています。生鮮3品に関して特に。ただ、このたび、JAで、生鮮食料品の野菜の直売所をつくっていただきましたので、野菜はあれですが、肉、魚。特に魚です。大きい問屋さんはあるのですが、小売店が全くない状態です。</p> <p>それで駅前商店街、田端町区民としては、この4のパターンがいいのではないかと。先ほど質問がありましたけれども、老人福祉センター、介護を伴わない元気なお年寄りの方が利用するのであれば、生涯学習センターでもいいのではないかと。そうであれば、結局、介護を伴う、福祉センターが絶対必要になってくると思うのです。</p> <p>先日、人口の推移ということで新聞に出ていましたが、村上市が一番減る率が多いのです。それを考えた場合、統合保育園でいいのかということもありますので、4の体育館並びに、もしできたら、一部市役所の業務をしてもらおう。体育館は、震災のときの避難場所、それで一部、上のほうにでも備蓄施設をつくっていただく。あそこの海拔は9メートルなので、そんな高層な建物を建てる必要はないと思います。</p> <p>それから、先ほど言った買い物難民ということです。大きなスーパーも、今はコンビニに負けている状態で、基本、あまり大きくしないで、小さい店舗をつくる傾向になっています。その辺、お働きかけいただいて、</p>

	<p>もしそういうものが自分でやっていただければ、そこで集客力も出てくるのではないかと。駅前商店街に関しては、ほとんど、見てお分かりのとおり、サービス業が圧倒的に多いのです。その辺を踏まえて、小売店、飲食店というサブがありますけれども、もう少し大きい生鮮3品を取り扱うようなところにお声掛けいただければ、なお、にぎやかになるのではないかと思います。以上です。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>浅野委員</p>	<p>よろしいでしょうか。今の石田委員の地元の意向もあるのであれば、それも賛成です。先ほど、観光も、町並み観光、観光案内所といいますか、いわゆる駅中といいますか、パターン4の説明がございました。</p> <p>駅との関連においては、先ほど、村上市観光協会がするのであれば不要ですと申し上げたのですが、前回、前々回にお話ししたとおり、瀬波温泉インターチェンジから自動車を利用する来訪者が直接入ってまいります。そうすると、この前もお話ししたとおり、直接駅の観光案内所へ、ターミナルを無視してドライバーが入ってくる。非常に、新潟交通さんともお話ししたとおり、ターミナルが厳しいという状況にあった中で、交流の中心地に街中の駅案内、そういうガイドを逆にお考えいただいたほうが、車がそのまま乗り入れしやすいというところはあるかなと思います。</p> <p>先ほどの意見とは違うのですが、勝手なことを申し上げれば、車で来た観光客のお客さまには、わざわざ村上駅まで来までもなく、この交流の中心地で、いわゆるガイダンスを受けられればよろしいのかなということも、先ほどのお話の中から付け加えさせていただきます。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>ありがとうございます。ほかにご意見等、ございませんか。</p>
<p>野澤副委員長</p>	<p>先ほどの児童福祉施設と高齢者福祉施設について、もう1点お聞きしたいのですが。この交流の中心地にその2つの施設を提案する、ここにもってくる意義です。私は、また新たな交流を増やすような、市民の交流を増やすような仕掛けがあれば、それもあり得るのではないかと感じていました。ですから、新たな交流が生まれるような、保育園や福祉センターをもってくるには、そういう仕掛けがなければ、この場所を交流の中心地にもってくる意義はそんなに大きくはないと感じます。</p> <p>この2つをもってくるにあたって、新たな交流を生むという仕掛けを伴った提案でないと、非常に分かりづらいというのが実感としてあります。</p> <p>何か、もしそういう提案がございましたら、お聞かせください。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>今、何か、お答えできるものが事務局側にご用意されておりますでしょうか。それとも、そういうものが必要だというご指摘ということで、これをまた次に活かすという考え方のほうがよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局-本間</p>	<p>非常に貴重なご意見ですので、次回に活かさせていただきたいと思えます。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>ありがとうございました。多分、同じことは、ちょっと言葉をめぐって委員の間でも、イメージに少し隔たりがあるのかなと思われるものが、老人福祉センターは老人福祉の機能、高齢者福祉の機能があるかなと思います。</p>

	<p>一方で福祉というと高齢者ということで、どちらかというと、世間一般のイメージとして、高齢者のケアというところがイメージの中心になりがちです。</p> <p>一方で、この資料の中で想定されているところは、健康増進とか、社会貢献とか、かなり健康なお年寄り、あるいはお年寄り予備軍というのでしょうか、そういう方々の活動の場として、ここを活用できないかというようなイメージが強く打ち出されているように見えます。</p> <p>一般論としてはどちらもあっていいだろうということだろうと思いますが、ここを、今ほど、野澤副委員長からのご指摘もありましたように、私の直感で申しますと、従来よくある老人ケアというものが中心だと、どちらかというと、この地域の中というか、施設に限られてしまう。外とのつながり、周辺とのつながりはあまり期待できない。利用者が行き来する程度のことかなと思います。</p> <p>一方で、もし本当にそれにニーズ、必要性があるということであれば、健康なお年寄りのさらなる健康という施設であると、ここに挙げてあるような室内運動施設と似たような、それに類似するような周辺とのつながり方とか交流みたいなものを生み出すきっかけにもなるかという気もいたします。</p> <p>具体的などころまで練り込まれていないだろうと思うのですが、現時点で事務局のほうで、形を模したような老人福祉センターのイメージとしてお考えのところがあれば、補足いただけないでしょうか。</p>
事務局-本間	<p>ただいま委員長がお話しされたとおり、ケア的なもの、あるいは健康増進的なものというところでして、駅の周辺、そしてにぎわい、あるいは活性化を考えているというところだと、やはり施設の中で完結するようなケアではないだろうと考えています。</p> <p>そして、これからどんどん高齢化していくので、社会進出、高齢者の皆さま方にも健康でいていただきたいということを踏まえまして、このような老人福祉センター等について考えさせていただいたところです。</p> <p>こちらにつきましては、皆さま方もいろんなご意見がございますので、参考にさせていただきたいと思います。</p>
櫛谷委員長	<p>ありがとうございます。先ほど、地元の商店街の状況として、石田委員からご説明、ご紹介いただいたことについて、私が事情を分からないのでお聞きしたいところがあるのですが、先ほどのお話ですと、肉や魚をという話がありました。</p> <p>例えば、商店を誘致というか整備というか、そういうことをするとして、そういうことが望まれているとして、この病院跡地をどう活用しようかという話をしているわけですが、このほかに整備をするということが必要ですか。それとも、それは仮に、今の話がなくても、既存の空きテナントのようところで実現可能性があるものでしょうか。</p>
石田委員	<p>村上総合病院の移転に伴って、空き店舗に「貸してください」という問い合わせはかなり来ております。ただ、業種別にどういうものが来るか、そういうことまでは分かっておりませんが、引き合いはある程度来ていると思います。</p> <p>肉屋さんとか、そういうものはあるわけです。そこに対して総菜関係とか、付随したものがあられるわけです。小さい個人の商店ですと、品数などが少なくなります。魚の場合は、干物とかを扱っているところがあるのです</p>



	<p>が、刺身など生ものを扱っているところはありませんし、焼き魚とかフライをやっているところはないのです。だから、年寄りの方は、魚を食べたいのに買うところがないと、大変困っている次第です。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>私を感じますのは、仮にその施設を、店舗として利用できるような施設を整備するというのが、行政の、市によって病院跡地にできたとして、でも実際にそこで魚屋さん、肉屋さんなどを経営されるのは、民間の企業ですよ。前の説明にもありましたように、行政が市のほうで整備する部分が、それはやればできるとして、それが実際に想定されているような機能が発揮できるかどうか、簡単に言うと、行政がそこに入ってずっと続けてやっていけるのだろうかというのは未知数な気がします。</p> <p>もし、できるのだったら、現状でも空いている店舗でできるのではないかと、素人考えだと思うところですが、いかがでしょうか。</p>
<p>石田委員</p>	<p>やはり業種別では大変だと思います。生鮮3品なんですね、メインは。魚を売るというのは、誰にでもできるわけではない。問屋さんとか、そういうところが絡まないと品揃えとか、そういうものもあります。今までそこで魚屋さんをやっていた人がやるのであればいいのですが、問屋さんはあったのですが、駅前の小売店の魚屋さんはなかったのです。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>つまり、病院跡地に、店舗施設というか、スペースがつくられたとして、そこで誰かが必ず営業してくれるものですか。</p>
<p>石田委員</p>	<p>その辺は問いかけないと、組合とかに話して、出てもらえるかということですね。さっき話をしたように、スーパーあたりはコンビニに押されているわけです。スーパーも小さくして出すと。東京とか向こうでは多くなっているのです。われわれにすればそういうところに期待しますし、買い物する人にすれば、そういうところが欲しいということです。</p>
<p>櫛谷委員長</p>	<p>あまり各論を今、ここで議論してもどうかというところ。私のもっていき方がちょっと違っていたと反省しているところです。言いたかったのは、先ほどの議論にあったように公的な整備を行うとして、それが持続するかどうかというところが、重要で、根底にあるかなと思います。</p> <p>もちろん、地元のニーズというのは大変重要だと思いますけれども、現実それが機能を発揮して、さらに5年、10年と継続するかどうかというあたりは、十分考えて整備しなければいけないと思います。</p>
<p>村山委員</p>	<p>今のお話なのですが、行政サービスだけではなくて、スーパーマーケット的なものが一緒にあるということは、利用者にとってはとても助かることです。例えば、道の駅なんかでも、いろんなものが買えて、さらにいろんな情報がもらえるところは大変集客が多くなっていると思います。</p> <p>J Aさんの直売所が近くにあるのですが、ここは手狭なので、将来いい場所が見つければ移動するというお話も伺っています。例えば、1階部分を直売所にしていただければということができれば。今、岩船港のお魚なんかも入っておりますので、石田委員の言われたようなものができてくるのではないかなとちょっと思いました。</p>
<p>坂上委員</p>	<p>さっき、私、老人福祉センターの話を、内容をよく見ないで発言してし</p>

	<p>まいりました。こういう内容であれば非常にいいと思います。ただ、ネーミングが、老人福祉となると、われわれはケアとかそういうイメージしかないものですから、何かいいネーミングがあったら、名前だけ変えていただきたいと思います。</p>
櫛谷委員長	<p>ありがとうございます。いろいろとご意見等いただいてまいりました。ぼちぼち想定していた時間に近づいてまいりましたので、まだご発言のない方々からもご意見、ご感想等いただければと思います。</p> <p>いかがなものでしょうか。斎藤委員、お願いします。</p>
斎藤（千）委員	<p>斎藤です。いろいろなメインの機能、サブの機能を見せていただき、紹介していただいています。私はせめてメインの機能というのは、私たち、山北に住んでいますと、村上まで来るのに45分、50分かかりますので、そういう所からでも来たくなるようなものをメインの機能としたものをつくっていただければと思います。</p> <p>サブの機能については、駅前の方々が不便しているようなこととか、そういうことを補完できるようなものがあるのもいいのではないかと思います。とにかくメインの機能については、村上市は5地区あるので、どこからでも来たくなるような、よそにはないような機能ができればいいと思います。</p>
櫛谷委員長	<p>例えば、今、例として出ていますが。</p>
斎藤（千）委員	<p>パターンの4かなと。</p>
櫛谷委員長	<p>観光施設とか運動施設とか。</p>
斎藤（千）委員	<p>みたいなのかなと思うのですが。</p>
櫛谷委員長	<p>分かりました。ありがとうございます。田巻委員はいかがでしょう。</p>
田巻委員	<p>皆さんのお話を聞かせていただいて、やはり私はいろんな意味でこの場所に何か建てるのであれば、訪れるにあたってハードルの低いものにすべきなのだろうと思います。</p> <p>特にアクセス面においては、駅に近い、先ほど浅野委員の話にあったようにインターから5分くらいの場所にあるということもあります。</p> <p>ちょっとフラッと寄ってみたい、あるいは広い駐車場があるので、あそこに行けば何かあるのではないかと。先ほどランドマーク的なという話をしようとしたところ、ちょっと否定される部分もございましたが、ある意味、そういった意味で、広い意味でランドマーク的な建物にすべきだろうと思います。</p> <p>特定の目的も結構ですけれども、狭い目的に限らずに、広い意味で、いろんなものが入っていたほうがきっと面白くなるのだろうと。</p> <p>あとは、多目的広場をつかった上で、そこでいろんなイベントを仕掛けたりする。そうすると、平日も休みの日にもぎわえる場所になるのではないかと思います。</p>
櫛谷委員長	<p>ありがとうございます。商工会議所の斎藤委員、よろしければご意見をいただけますでしょうか。</p>

斎藤（茂）委員

商工会議所の斎藤です。今日で2回目か、3回目ですか、参加させていただいて、村上駅周辺のことを勉強させていただき、ありがたく思っているわけです。

先回、4回目のとき、私が申し述べさせていただいたのは、児童福祉と高齢者福祉を一緒にして、言葉は悪いのですが、ご老人と子どもたちの交流の場をつくりたいという話をしました。

老人福祉ならびに児童福祉を売りにするような、先ほど、野澤副委員長がおっしゃったような、それなりの特別なものをするという気構えで、例えば日本一の駅前福祉の地域にするのだとか、そういったことがあれば、面白いし、あの辺は老人と子どもがぐちゃぐちゃ居るみたいな話になれば、別な交流が生まれてくるのではないかと考えています。以上です。

櫛谷委員長

ありがとうございます。大変面白いし、非常に今後の方向性が含まれた示唆に富むご意見だと思います。どうしても、議論の進め方から、ばらばらにいろんなことを考えがちですが、組み合わせの仕方でも1+1が2以上のものができてくると、多分そういうことかなと聞いていて思いました。

最後に恐縮ですが、大平委員、ご意見をいただけますでしょうか。

大平委員

私も今ほど、斎藤委員からお話がありましたけれども、全く賛同いたします。

先ほど、子どもとか、そういったもので集客できるのかという話があったと思いますが、実際に県内でも長岡とか、そういったところでは保育園ではないのですが、子どもを遊ばせたりする立派な施設ができています。ものすごく人が集まるということが、実際にあると私も聞いております。ほかの市でもそういう取り組みを既に始めているということも聞いておりますので、いくらでも可能性があるのではないかと考えています。

このパターン4というお話もあるのですが、メインの機能として室内運動施設というのがちょっと分からない部分です。今、体育館とか、あちこちに使っているところがあるのですが、またそういったものが駅前に必要なのかなと、疑問に思っています。以上です。

櫛谷委員長

ありがとうございます。ぼちぼち時間が12時に近づいてまいりましたので、本日の議論をまとめる方向にもっていきたいと思います。

まず、これだという決定打と申しますか、集約できるようなものは、現在見いだされていないと認識しております。

ただ、前回以上に、方向性以外のものは、1つに絞られたとは言いがたいのですが、幾つか見えてきたところがあると思っております。明確な形で今まとめることができないのですけれども、印象で申しますと、ここを市民の交流の中心地にしようというのは議論の出発点として共通の理解が得られていると思います。

どんな交流かという中身が一番重要になるわけですが、この中で言葉の使い方には違いがありますが、例えば高齢者、元気なお年寄りといいますか、中高年、それ以上の方の健康増進を目的とするような施設もひとつ考えられるだろう、そういう機能がこの地区では重要だろうと。

一方で、この地区には限らないけれども、子どもないしは、子育てのための施設が特に休日も気軽に利用できる、あるいは長時間利用できる形でここに整備されると、直接子どもだけではなくて、その親などにも影響が

あるので、交流人口の増加にもつながるだろうということも見なされているかと思います。

このところは詰めていかないと分かりませんが、例えば保育園、前から統合保育園という構想が出されていますが、単独で保育園というものを考えたときには、ほかの、今挙げた幾つかの機能に比べると交流を増加させるというところは減っていくのではなかろうか、ということです。

逆から言いますと、その機能が不要ない、全く地元ニーズがないということではなかろうかと思しますので、何らかの形でほかとの組み合わせ、ないし保育園に付加価値というのは言葉が適当ではないのですが、付加的な機能を一緒に考えることによって交流を増す方向でこれを位置づけられないかということも出されたかと思します。

そうしますと、今回、資料2で4つのパターンを事務局に用意してもらいました。いくつというところは、なかなか決めがたいところがあります。直感的に申しますと、2つくらいには絞られてくるのかなと。

もちろん、その2つがどれかという単純な話ではないにせよ、もう少しこれがこの半分か、1つのパターンをめぐって、これはこのように変えたらよろしいというような、もう少し集約されたたたき台というものがまたご検討いただいて、次回、ご用意していただけるのではないかと思っております。

そういうことでこの会を閉めさせていただきたいと思します。本日皆さまからいただきましたご意見をもとにして、私がちょっと先走って事務局にさらにご負担をかけるような形で恐縮ですが、1つ、ないし2つくらいのたたき台に絞るような形で、次回、また議論をして、次回はできましたら、その中で「これでいこう」というところを、最終的な決定に至るかどうかは成り行きですが、今回よりは絞っていきたい。

少なくともメインとなるのはこれだということは、次回決定して、うまくいけば、そこで大方の意見の集約を得たという形にもっていききたいというのが願望です。

事務局には、ご苦勞をお掛けして恐縮ですが、次回そのようにもっていききたいと思しますので、それに先だって委員の皆さまにたたき台といえますか、話し合っていたいただいた試案のようなものをご準備いただいて、委員の皆さまにおかれては、こちらにお集まりいただく前に中をあらためてご検討いただく。よく考えていただいて、お集まりいただいたときには、疑問点なり議論なり、あるいはこれがいいんじゃないかということを披露いただいて、次回、集約の方向に近づけることにしたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

本日、何か言い忘れた、どうしても言っておきたいということがございましたら、承りたいと思しますがいかがでしょうか。

浅野委員

斎藤委員ではないのですが、老人福祉と子育ての先進事例をつくりあげるのはいいと思します。村上市はそういうところだとアピールするべきだと思いますので、そういうことで市民を説得していただければと思します。

櫛谷委員長

ありがとうございます。この委員会にその意義があるか分かりませんが、少なくとも市民を説得するという、本当にやるかどうかは別問題ですが、そのための材料はここで皆さまからご意見をいただいて、その根拠を、なぜこれがいいのかということを十分、報告書としてまとめることとなりますので、そこに書き込む材料を次回は重ねて議論させていただきた

	<p>いと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それではよろしいでしょうか。それでは、これで事務局にお返しいたします。ありがとうございました。</p> <p><b>4. その他</b></p> <p>事務局-渡邊 皆様、長時間にわたりまして、熱心なご審議ありがとうございました。次第の4. その他ですが、事務局から連絡事項がございますので、説明いたします。</p> <p>事務局-加藤 それでは連絡事項を2点お伝えいたします。</p> <p>連絡事項の1点目ですが、本日の委員の皆さまの報酬、費用弁償に該当される方につきましては、6月12日か19日のいずれかの日に振込予定とさせていただきます。なお、振込日については、文書であらためてご連絡させていただきます。</p> <p>連絡事項の2点目ですが、本日の会議録について、会議録作成後、委員の皆さまに確認票と併せて送付させていただきますので、ご確認のうえ、ご返送くださいますようお願いいたします。</p> <p>以上、よろしくお願いいたします。</p> <p><b>5. 閉会</b></p> <p>野澤副委員長 ・あいさつ</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---